

料金別納郵便



安
洞
雅
彦

安洞雅彦 豆向付1000客 展

—愛情出品 安藤友紀—

令和5年6月23日(金)~28日(水) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日28日は午後5時まで)

安洞雅彦といえば豆向付、豆向付といえば安洞雅彦、と作家のシグネチャーになってきた感のある小さな向付。制作を始めてから約12年、意匠は589種まで増えた。そこまで読んで、疑問が湧きはしないだろうか。自らの発想の趣くままにつくるのであれば、約600種に12年も要することはないだろうにと。これら豆向付はすべて、本歌である桃山時代のオリジナルをはつきり特定できる、探究と再創造の営みから生まれてきたもの。能などの伝統芸能が、「型」を完全に消化した先に、身一つの個人では到達し得ない自由を見出すように、安洞は桃山の型に己を埋めてきた。窯址を見つめる考古学者のように冷静な眼と、400年前の陶工を憑依させるがごとき没入の精神、という両輪が噛み合うことで、安洞の孤独な疾走は、ますますその速度を増している。

橋本麻里(小田原文化財団 甘橋山美術館準備室 室長、金沢工業大学 客員教授)

安洞雅彦 会期中、全日在廊予定

昭和48年 名古屋の古美術商の家に生まれる
平成14年 独学でやきものを始める
平成16年 瀬戸市陣屋に工房を移す
平成19年 多治見市甘原町に工房を移す
平成21年 薪窯をつくる
令和元年 上海で個展

安藤友紀 23日(金)、25日(日)在廊予定

愛知県名古屋市生まれ
平成9年 愛知県立瀬戸窯業高校 陶芸専攻科卒
平成14年 名古屋市に築窯
平成19年 岐阜県多治見市に移転、安南焼に出会う
安洞雅彦と結婚

柿屋ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com



お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

